

参考資料:事業実施概要書

①「世界のウチナンチュの日」のぼり贈呈による海外への周知活動

目的:名護市の姉妹都市であるハワイ州ヒロ市へ「世界のウチナンチュの日」英語バージョンののぼりを贈呈し、現地の県系県人会のイベント時に掲げてもらうことで、ウチナンチュの一体感とともに繋がりを強化することを目的とする。

配布先:ファイオキナワ(ヒロ市にある沖縄県人会) 配布枚数:各10枚
ハワイ名護クラブ等



ファイオキナワへの贈呈の様子



現地のウチナンチュイベントでのぼりを掲げて記念写

②「世界ウチナンチュの日」パネル展示

目的:「世界のウチナンチュの日」周知のため、庁舎入り口にパネル展示を行い、来庁する市民や市職員に対して周知する。パネル内容は、過去から現在の写真を掲載することで、海外のウチナンチュ40万人の存在をPRするとともに、過去から未来へウチナンチュのつながりを感じてもらえる内容とした。

期間:10月1日(木)から10月30日(金)まで

場所:名護市役所庁舎ロビー



③「名護のチビラシムンでウトウイムチ」講演会の開催

目的: 2021年の世界のウチナーンチュ大会において来沖する県系人の沖縄での満足度向上を図り、今後の交流発展に繋げることを目的として、産学官連携した「おもてなし」について、産学官連携の先進事例として川崎沖縄県人会会長および川崎市産業振興団理事長を招へいしての講演会およびパネルディスカッションを実施した。 参加者数: 44名



「世界のウチナーンチュの日」制定発起人の比嘉アンドレス氏、伊佐・正アンドレス氏によるオープニングあいさつ



基調講演①
川崎沖縄県人会会長 比嘉 孝氏



基調講演②
川崎市産業振興財団理事長 三浦 淳氏



アトラクション
名護市屋部区による琉舞披露



パネルディスカッションの様子



市内産学官代表によるパネリスト

④世界とつながるSNS活用セミナーの開催

目的: 世界のウチナンチュに対して、「世界のウチナンチュの日」や、沖縄や名護の魅力等を情報発信するためのSNSの友好活用方法、ワークショップを通してその場で世界と「繋がる」、「発信する」を体験してもらい、名護から「歓迎」ムードを高めるための取組を実施した。

参加者数: 26名



比嘉アンドレス氏による「世界ウチナンチュの日」説明の様子



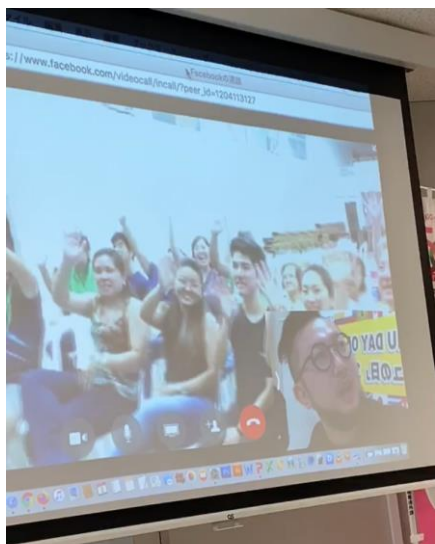
講師: 岸本祥弥氏



セミナーの様子①



セミナーの様子②



ブラジル ロンドリーナ市にある沖縄県人会の方々とのSNSライブ中継の様子



【実践ワークショップ】

ブラジル ロンドリーナ沖縄県人会とSNSライブ中継を通じてのコミュニケーションの様子